事業番号　556

平成23年行政事業レビューシート　（外務省）

事業名	ODA白書編集等経費	担当部局庁	国際協力局	作成責任者
事業開始・終了(予定)年度	－	担当課室	開発協力企画室	室長　横田　敬一
会計区分	一般会計	施策名	VI－1　経済協力	
根拠法令（具体的な条項も記載）	外務省設置法第4条第1項第1号（ハ）、24号	関係する計画、通知等	－	
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	政府開発援助（ODA）白書（日本語版及び英語版）及び参考資料集の作成経費			
事業概要（5行程度以内。別添可）	ODA白書は、ODA大綱の実施状況及び我が国の援助実績等につき有用な情報を掲載していることから、ODAの企画・立案に携わる者によって基礎的な情報・資料として活用されると共に、ODA実施状況を年1回包括的にとりまとめ、内外に公表することは、ODAの広報効果を高め、かつ国民に対し説明責任を果たし、国民の理解を求める観点からも不可欠である。			
実施方法	□直接実施　■業務委託等　□補助　□貸付　□その他			

予算額・執行額（単位:百万円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
予算の状況	当初予算	27	27	24	22	21
	補正予算	－	－	－	－	
	繰越し等	－	－	－	－	
	計	27	27	24	22	21
執行額		25	24	2		
執行率（%）		91%	88%	8%		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値（23年度）
成果目標：ODA白書を通じたODA広報及びODAに係る国民の啓発 成果実績：ODA白書（ウェブ版）へのアクセスは最近1年間で約615万件（月平均約51万件）に上り、外務省HPのODA部分の中でも最大。また、製本版については、地方自治体、大学図書館などへの配布分、一般販売分をを併せて約6千部を数えている。	成果実績	発行部数	5,000	5,839	集計中	5,800
	達成度	%	－	－	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
白書：年1回発行	活動実績（当初見込み）	発行回数	1	1	1 （　　）	1 （　　）

単位当たりコスト	（405円／1冊あたり）	算出根拠	執行額／発行部数 （平成22年度は発行部数を集計中のため、平成21年度にて算出）

平成23・24年度予算内訳（単位：千円）

費　目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
ODA白書作成	19,250	18,671	
編纂等派遣職員	2,546	2,694	
計	21,796	21,365	

事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本案件は前年の政府開発援助実績についての報告に加え、政府の行う国際開発協力の政策と実施につき、わかりやすく紹介することで、開発援助についての国民各層の理解と支持を増進させることを目的としており、右目的を達成するために有効な成果物を作成出来た。		

予算監視・効率化チームの所見	
一部改善	単価見直し等による減額

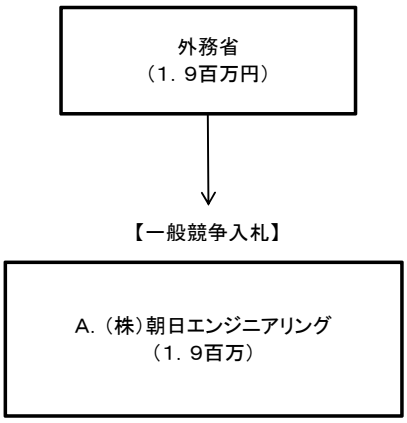
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）

縮減（単価見直し等による減額）

補記　（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

※平成22年度実績を記入



注：ODA白書作成に伴う支出は震災に伴う事故繰越のため、平成23年度として執行。

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.（株）朝日エンジニアリング

費 目	使 途	金 額（百万円）
人件費	派遣職員賃金	2
計		2

E.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

B.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

F.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

C.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

G.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

D.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

H.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A. （株）朝日エンジニアリング

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 （百万円）	入札者数	落札率
1	（株）朝日エンジニアリング	派遣職員賃金	1.9	7	50%
2					